

◆主要ニュース◆

●愛知県及び三重県の「喫煙環境を考える会」/たばこ国産2年連続1兆円超す...2面
●特選第2弾20歳未満喫煙防止強化月間(街頭イベント(8連合会))...3面
●市の全額負担でコンテナ型喫煙所を設置(埼玉県八潮市)/たばこの出合い/愛煙者録...5面
●「たばこ生協」2022年度年間表彰1位組合に聞く/JT北関東工場を視察(栃木県連合会・大田原組合)/各地区で視察・研修会を実施(茨城県連合会・茨城組合・鹿島組合)...6面
●先人の言葉/頤の体操「おもしろクイズ」/たばこ販売店総合保険・専業の案内...7面
●「POP講習会」を実施(静岡県茶業組合女性部)/「たばこ屋さん目録」からのお店から探える「喫煙マナー啓発」/専業の専業/手作りPOP講習...8面

全 国
たばこ
新 聞

2023年9月 September 第929号

発行元/全国たばこ販売協同組合連合会
〒105-0014 東京都港区芝1丁目6番10号
芝SIAビル7階 TEL.03(5476)7551
企画編集責任/株式会社アーネスト
〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2
新橋第一ビル TEL.03(3432)8346

減少傾向続き1.9%減の22万4653店

財務省調べの2022年度販売店数

財務省調べによる2022年度(2022年3月末まで)の全国たばこ販売店数は22万4653店(前年度比4.452店、1.9%減)となり、2002年度の約30万7千店以降、廃業店数が新規許可店数を上回る減少傾向にある。その内訳は、新規許可店2346店(同3.71店、13.7%減)、廃業店1663店(許可取消6店含む)6798店(同3.23店、2.1%増)で、新規許可店数は、3年連続2千店台の過去最少を更新、廃業店数も3年横ばいの6千店台で推移している。全都道府県減少の動きはやや緩やかな傾向にあるようだが、水面下では地殻変動が起きていく。

中小零細店にとって厳しい市場環境

新規許可店数の多い都道府県は①東京都305店②大阪府214店③愛知県121店④神奈川県120店⑤埼玉県114店、その合計は全体の37.3%を占める。廃業店数は①東京都545店②大阪府476店③愛知県328店④福岡県307店⑤千葉県277店と同じく28.4%を占め、東京都、大阪府、愛知県での新旧の入れ替わりが激しい。その結果、沖縄県を除く販売店数は

JTの新ブランド「WIZEN」登場「ウイズ2」を9月より全国発売



「ウイズ2」

JTは加熱式たばこの新ブランド「WIZEN(ウイズ)」を立ち上げ、新デバイス「ウイズ2」を9月5日より順次全国のたばこ販売店等で新発売する。新デバイスは販売が終了

「ウイズ2」の特長は加熱待ち時間がゼロで、オンオフが自由自在という利便性に加え、たばこのおいさをほほ感じず、燃焼に伴う副流煙が発生しない。また、ボタン一つで2つの加熱モードに切り替えられるデュアルモードを搭載

店頭から訴求する

標語募集

「喫煙マナー啓発」

詳細8面

少とさらには店主の高齢化(後継者不在)等を理由に市場からの撤退が加速していることが要因といえる。とくに一般販売店の主力製品である紙巻たばこは度重なる増税により需要の減少が続く、その反面、最近の成長著しい加熱式たばこの伸張はお客様のコンビニへの流れを加速させ、一般販売店はお客様の争奪戦でコンビニの後塵を拝している市場の環境変化という厳しい現実がある。

全協まとめによる2022年12月末現在の全国の組合員数は3万2755人で前年同期にズ2の発売に合わせて新たに「メビウス・プレミアム」を9月5日より全国発売する。純国産特別原料「ゴールドリール」を使用し、きめ細かな味わいが特長。たばこカプセル5本入り、カートリッジ1本入りで580円(税込み)。

ある組合員は「中小零細販売店の加熱式たばこの取扱いは数量は少ないのに、品ぞろえの豊富なコンビニに太刀打ちできないのが現状。紙巻たばこの需要減の影響が痛い」と語る。市場規模が縮小する中でコンビニとの力の差が、中小零細店を直撃していることが推測できる。これまで、街の灯台として地域社会を支えてきた一般販売店(組合員)の減少は、たばこ業界の果たすべき社会的責任である20歳未満喫煙防止、喫煙マナー向上運動、喫煙者のための分煙環境整備活動などに影響を及ぼしかねない。

ある組合幹部は「今こそ、組合員同士が地域の仲間と互いに知恵を出し合い結束して、協働・協同共闘の精神を発揮して、組合員・愛煙家社会的貢献のために組合の存在価値を高めていくべきではないか」と語る。

組合員のみならずへ

「新型たばこ自動販売機・お手持ちのたばこ自動販売機改作」のご案内

全協では、このほど全国のたばこ組合員の皆様を対象に「新型たばこ自動販売機とお手持ちのたばこ自動販売機改作」のご案内文を郵送しました。これは新紙幣の導入(2024年7月前半)と年齢識別方式taspo終了(2026年3月31日)に対応した「新型たばこ自動販売機」と「お手持ちのたばこ自動販売機改作」(コインメック・ピルバリ交換、運転免許証・マイナンバーカードの年齢識別装置の装着)に関するご案内資料です。案内文をご確認、熟読していただいたうえでのご対応をよろしくお願いいたします。なお、案内文には、本件に関する組合員様からのお問い合わせ専用「たばこ組合自販機コールセンター」開設についても明記しています。

必ずご確認ください!!

2段広告

三重県喫煙環境を考える会



分科会で活発な意見交換も

第21回「三重県喫煙環境を考える会」連絡協議会(福田和義会長)が7月19日に津市・ホテルグリーンパーク津で開かれた。同連絡協議会は、2003年からたばこ販売関係者、関係団体、行政等の代表が一堂に会し、「喫煙者・非喫煙者の共存」「よりよい喫煙環境の実現」について協議を重ねている。

今回の連絡協議会には、三重県たばこ組合役員、県議会議員6名、11市の市議会議員25名、4町の町議会議員7名及び行政関係者、喫茶飲食生活衛生同業組合、中部愛煙友の会の代表ほか賛助会員であるJT三重支社(三浦雄二郎支社長)、オプザパー(支社長)、オプザパーとして全協の加藤和人

よりよい喫煙環境の実現へ!!

「愛知県喫煙環境を考える会」

「愛知県喫煙環境を考える会」(長谷川允紀会長)が中部愛煙友の会(会長)の第9回協議会が8月2日に名古屋市内で開催され、県内各地の関係機関・団体関係者等約90名が出席した。

最初に長谷川会長(写真)「賑わいある街づくり」の講演

「賑わいある街づくり」の講演



が、皆様方の一層の理解と協力をお願いしたい」と挨拶した。

今回は賑わいのある街づくりに関連した講演が2部構成で実施された。1部では、工学院大学建築学部の遠藤新教授が「賑わいあるストリート

と分煙の考え方」をテーマに、2部では(金山駅前まちそだて会)の田中良知会長が「金山駅の街づくり及び喫煙環境」について現状と数々の事例を紹介し、人々が互いにルールを守り、思いやりに配慮し共生の空間としての分煙環境の整備が大切な要因であることを示した。

なお、協議会の出席者は、愛知県下の衆参国会議員5名、県議会議員5名、9市の市議会議員17名、県内の行政、まちづくりの各種団体、協議会市民グループ、愛知県生活衛生同業組合、たばこ関係では、今枝和義、愛知県組合理事、中島和則、中部耕作組合長、JT愛知支社、全協の武田基樹統括部長など関係者多数。

副会長、東海連合会の片岡孝夫参事など総勢約70名が出席した。

冒頭、福田会長(写真)は「昨今の過度な喫煙規制の広がりは、喫煙者や零細たばこ販売店のみならず飲食店、商業施設の経営に大きな影響を与えている。地方財政を支える地方たばこ税の確保のためにも分煙環境整備に向けた具体策についての議論を深めてほしい」と挨拶した。

次いで、事務局から2022年度における県内各地の活動報告が

国たばこ税・たばこ特別税の決算額

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
国たばこ税	873,699	839,819	905,666	956,708
たばこ特別税	123,768	112,151	111,979	115,801
合計	997,467	951,970	1,017,645	1,072,509

たばこ国税2年連続1兆円超す

◆2022年度決算額 財務省はこのほど2022年度の国たばこ税及びたばこ特別税の税収決算額を発表した。

それによると、2022年度における国たばこ税額は956億7080万円、前年度に比べ510億4200万円、率にして56%の増加となった。また、たばこ特別税115億8010万円、前年度に比べ115億8010万円、率にして10%の増加となった。

この国たばこ税とたばこ特別税の国税合計額は1兆725億9000万円となり2年連続して1兆円を超えた。

たばこ税の財政貢献は、国税(国たばこ税とたばこ特別税)と地方たばこ税に区分されるが、地方たばこ税額については総務省から発表される。また、国税分と地方たばこ税はほぼ均等額である。たとえば3年前の2019年度では国税約997億5000円に対して地方たばこ税額は993億4000円(確定値)とほぼ同額だ。

そのため、地方たばこ税は国税と同じく2年連続して1兆円を超すことは確実である。

3段広告

中国 JR広島駅北口でJTサンダース広島も参加 中国連合会



中国連合会(大島治会長)では7月14日、JR広島駅北口において街頭イベントを実施した。当日は、中国連合会の今村盛登副会長(三原組合理事長はじめ組合、女性部、中国財務局、県民活動課、県教育委員会、県警察本部、広島南警察署、少年補導協、県連絡協議会、広島市健康推進課、広島市教育委員会、広島校外教育連盟、広島県小売酒販組合連合会、JT広島支社、JTサンダース広島、日本フランチャイズチェーン協会、広島ナイースモーカークラブの代表ら44名が、ポケットティッシュなどを配付しながら、20歳未満喫煙防止を訴えた。

四国 高松中央商店街ドーム広場で 四国連合会・香川県高松組合



四国連合会(玉井芳二会長)では7月20日、高松組合(間島実理事長)が、高松中央商店街北部三町ドーム広場において街頭イベントを実施した。当日は、間島実理事長はじめ組合員、女性部(多田玲子部長)、四国連合会、四国財務局、JT香川支社(蔵下泰豊支社長)、日本フランチャイズチェーン協会の代表ら総勢23名が、20歳未満喫煙防止を訴えながら、啓発用のポケットティッシュを配付した。

九州北部 JR博多駅筑紫口周辺で 九州北部連合会・福岡県組合



九州北部連合会(白石宗範会長)では7月6日、福岡県組合(白石宗範理事長)がJR博多駅筑紫口周辺で街頭イベントを実施した。当日は、白石宗範理事長はじめ組合員、女性部(阿部恵子部長)と、福岡財務支局、県健康増進課、県青少年育成課、県教育庁、県警察本部、県青少年育成委員会、県少年警察ボランティア協会、JT福岡支社、BATJ、日本フランチャイズチェーン協会の代表ら総勢29名が、20歳未満の喫煙防止を訴えながらポケットティッシュを配付した。



和歌山県組合(加藤久博理事長)では7月14日、JR和歌山駅で街頭イベントを実施した(写真、左上)。当日は、組合の代表のほか、和歌山財務事務所、県青少年、男女共同参画課、県教育庁、県警察本部、県青少年育成協会、和歌山市、和歌山商工振興課、市立少年センター、JT和歌山支社(11名参加) ◆7月6日 JR新宮駅 (11名参加) ◆7月6日、JR紀伊勝浦駅 16名参加 ◆7月7日 JR南海橋本駅(12名参加) ◆7月12日、わかやま電鐵貴志駅(8名参加) ◆7月14日、JR粉河駅(8名参加) ◆7月20日、オークワロマンシティ御坊(シヨビングセンター)(10名参加) ◆7月26日、JR箕島駅(11名参加)

特集 第2弾

20歳未満喫煙防止強化月間・街頭イベント

先月号に引き続き、7月1日より1か月間、全国で実施された「20歳未満喫煙防止強化月間・街頭イベント」の主な活動を紹介する。

北海道 札幌市のJR札幌駅の歩道で 北海道連合会・南北海道組合



北海道連合会(鈴木盛策会長)では7月18日、札幌市中央区のJR札幌駅前の歩道において街頭イベントを実施した。当日は、鈴木盛策会長、南北海道組合の武田寛理事、同組合の藤原清子女性部長はじめ組合員、女性部の代表ほか、北海道財務局の伊東貴世課長、JT北海道支社の遠山尚支社長はじめ、日本フランチャイズチェーン協会の代表ら総勢50名が参加、三越札幌店の歩道で、ポケットティッシュを配付しながら20歳未満の喫煙防止を訴えた。



福島県 JR郡山駅西口広場周辺で 福島県連合会・新福島組合郡山支部 会長では、新福島組合郡山支部(遠藤豊支部長)が7月7日、JR郡山駅西口広場周辺で街頭イベントを実施した。当日は、郡山支部の森茂宗一副支部長、橋本ミイ女性部長をはじめ組合員、女性部と福島県連合会の代表、郡山警察署生活安全課、JT福島支社の早乙女充宏支社長、BATJ、日本フランチャイズチェーン協会の代表ら総勢20名が、ポケットティッシュを配付しながら20歳未満の喫煙防止を訴えた。

東京都 JR渋谷駅西口周辺で 東京都連合会・渋谷組合



東京都連合会(森岡和夫会長)では7月21日、JR渋谷駅西口周辺で街頭イベントを実施。当日は、東京都連合会の塩田孝二副会長(新宿文京組合理事)はじめ、連合会、渋谷組合、全協、東京財務事務所、警視庁、日本たばこ協会、JT東京支社、BATJ、日本フランチャイズチェーン協会、たばこをたのしむ東京の会(三多摩たばこ友の会の代表)ら総勢35名が、20歳未満喫煙防止を呼びかけながら、啓発用ポケットティッシュを配付した。

栃木県 JR宇都宮駅で街頭イベント・県内の高校にティッシュ配付の依頼も 栃木県連合会・宇都宮組合・栃の葉組合東部支部



【JR宇都宮駅】7月7日、栃木県連合会(樽見行雄会長)の五味潤節夫専務理事(写真右端)、宇都宮組合(鈴木節人専務理事)の鶴見忠夫専務理事と組合、女性部、宇都宮財務事務所、栃木県警、県庁文書学事課、県民協働推進課、教育委員会、栃木未来づくり財団、JT栃木支社、栃木たばこ協会の代表ら総勢32名が参加。 ◆県立茂木高校 7月4日、高校生に直接、20歳未満喫煙防止をアピールするため、栃の葉組合東部支部の中山武支部長、同女性部の佐藤貞子部長らが県立茂木高校の片岡広行教頭、佐山浩行指導主事に、同校生徒への啓発用ティッシュの配付等を依頼、全生徒への配付を実現した。

関西 JR和歌山駅ほか7地区で 関西連合会・和歌山県組合

和歌山県組合(加藤久博理事長)では7月14日、JR和歌山駅で街頭イベントを実施した(写真、左上)。当日は、組合の代表のほか、和歌山財務事務所、県青少年、男女共同参画課、県教育庁、県警察本部、県青少年育成協会、和歌山市、和歌山商工振興課、市立少年センター、JT和歌山支社(11名参加) ◆7月6日、JR新宮駅 (11名参加) ◆7月6日、JR紀伊勝浦駅 16名参加 ◆7月7日、JR南海橋本駅(12名参加) ◆7月12日、わかやま電鐵貴志駅(8名参加) ◆7月14日、JR粉河駅(8名参加) ◆7月20日、オークワロマンシティ御坊(シヨビングセンター)(10名参加) ◆7月26日、JR箕島駅(11名参加)

埼玉県八潮駅前市が全額負担してコンテナ型喫煙所を設置



空調機・エアコン設備の快適な喫煙空間を実現

埼玉県南東部に位置し、南部は東京都足立区・葛飾区と隣接する八潮市。2005年につくばエクスプレスの八潮駅が開業してからは大規模商業施設等が建設されるなど目覚ましい発展を続けている。その八潮駅改札口の正面にさる4月1日に喫煙所が設置された(写真)。従来のパーテ

シヨンをリニューアルして、より分煙効果の高いコンテナ型(密閉型)に新するとともに高性能の空調機を、さらに夏場の7月から9月に冷房の20℃に設定するエアコンを装備する。除の論理が強まっていくことは、喫煙空間を現実している。もう一つの特徴は、設置費1800万円の全額を市が負担(スタンド灰皿2基はJTが寄贈)していることだ。首長(大山忍市長)の決断による分煙環

境整備は、県内で例が少ないことから埼玉県連合会(高沢啓会長)も注目し、8月2日の関係者代表3氏(写真)が大山忍市長を訪問し、分煙環境整備への想いに沿って親しく懇談した。大山市長は主要次のように述べた。

その一方で地方たばこ税は自治体の貴重な財源です。自主財源として安定的な魅力ある税であることは誰も異を唱えません。本市でも年間約8億円の貴重な財源となつていきます。

今回の喫煙所整備は、町村に「地方たばこ税」が納付されます。JT等がたばこ販売店に売渡した金額の地方たばこ税分を、該当する自治体に対して、翌月末までに税額を申告し納税しています。自治体からみれば、徴税費用が掛からない税

たばこは身近な嗜好品として長年にわたり人々の生活に根付いてきました。ただ、最近の風潮として少し排除の論理が強まっていくことは、喫煙者として感じることは、お互いにルールとマナーを守り、たばこを吸う方、吸われない方がお互いに地域の中で楽しく、元気で、笑顔で共存共栄できる社会が望ましいと考えます。

一方、19世紀半ばから世界的に広がった、黄リンを素材としたマッチ製造は、作業に従事する人々に重大な健康被害を及ぼした。その製造過程で黄リンを含む蒸気を吸い込み、顎の骨が壊死するという治療不能な健康被害を引き起こしたため18年(1885)に明治政府は、黄リンマッチの製造を禁止したが、中国大陸、特に東北部では安価な黄リンマッチの需要が高くなり、我が国の重要な輸出品となつてきたことも

愛煙奇縁 4 谷田 有史

マッチは簡単に火を点けられる画期的な道具としてヨーロッパで誕生し、19世紀半ばから世界に広がった。マッチの誕生で、それまで炭火などで火を長持ちさせる必要がなくなり、喫煙具のしつらえなど、日本のはこの文化にも大きな影響を与えている。

また、マッチは山林が豊かな日本において有望な産業として注目され、外国で製法を習得した元金沢藩士の清水誠(しみず)



金属製マッチケース(日本製19世紀後半)たばこ博物館蔵

ずまこと)により、明治8年(1875)に製造が開始された。ただ、明治初期のマッチは、現在のような安全マッチとはほど遠く、自然発火する危険性が高いマッチだった。そのため、金属製の「マッチ入れ(マッチケース)」が製造された。こうしたマッチ入れは、同年(1876)に施行された薩摩令で職を失っ

た刀装具の職人(金工家)たちが、「紙巻たばこ入れ(シガレットホルダー)」などと共に製作を始めたという背景もあり、金属製マッチ入れや紙巻たばこ入れが大量に製造され、優れたものは海外に輸出された。

たばこは身近な嗜好品として長年にわたり人々の生活に根付いてきました。ただ、最近の風潮として少し排除の論理が強まっていくことは、喫煙者として感じることは、お互いにルールとマナーを守り、たばこを吸う方、吸われない方がお互いに地域の中で楽しく、元気で、笑顔で共存共栄できる社会が望ましいと考えます。

たばこの出会い ⑦ 太秦広隆

「たばこは地元で買いましょー」——このフレーズはたばこ組合の方々から以前から愛煙家に呼び掛けています。これはどういうことかは読者の皆さんはご承知のことです。

愛煙家がたばこを買いますと、そのお店が所在する都道府県、区市町村に「地方たばこ税」が納付されます。JT等がたばこ販売店に売渡した金額の地方たばこ税分を、該当する自治体に対して、翌月末までに税額を申告し納税しています。自治体からみれば、徴税費用が掛からない税

「たばこは地元で買いましょー」——このフレーズはたばこ組合の方々から以前から愛煙家に呼び掛けています。これはどういうことかは読者の皆さんはご承知のことです。

愛煙家がたばこを買いますと、そのお店が所在する都道府県、区市町村に「地方たばこ税」が納付されます。JT等がたばこ販売店に売渡した金額の地方たばこ税分を、該当する自治体に対して、翌月末までに税額を申告し納税しています。自治体からみれば、徴税費用が掛からない税

「たばこは地元で買いましょー」——このフレーズはたばこ組合の方々から以前から愛煙家に呼び掛けています。これはどういうことかは読者の皆さんはご承知のことです。

愛煙家がたばこを買いますと、そのお店が所在する都道府県、区市町村に「地方たばこ税」が納付されます。JT等がたばこ販売店に売渡した金額の地方たばこ税分を、該当する自治体に対して、翌月末までに税額を申告し納税しています。自治体からみれば、徴税費用が掛からない税

2022年度年間表彰1位組合に聞く

たばこ生協の2022年度の年間表彰組合は本紙既報の通り、火災生命共済部門1位は若手県部の二戸組合(村川恒義組合長)、交通災害共済部門1位は岩手県盛岡組合(高橋金兵衛理事長)と愛媛県の松山組合(玉井芳二理事長)。厳しい共済事業の中で全国の模範となる成果を収めた3組合代表に事務局が加入促進活動の取り組み等を伺った(文中…敬称略)。

事務局 日頃の取り組み状況を伺お聞かせください。



村川 二戸組合は、前年度人口数を維持することを目標としてお

り、減口分を増口でカバーするようにしています。また、20年前から組合費と共済掛金は口座振替を実施しているため未納続となるものが少なく、また、廃業した組合員には継続組合員制度(※)を活用し継続していただくように勧めていることで、共済加入者の減少傾向をとめています。



高橋 盛岡組合は、地区毎に支部長を配置し、座談会や美化活動などの活動を通じて組合員同士の結束が固く、座談会開催時や共済更新時には1口増口運動を展開しています。事務局メンバーも一対話と協

組合員とのコミュニケーションを大切に

いことが気になっていましたので、毎月送られてくる共済加入状況が目標になりました。まず、事務局と組合員さんとのコミュニケーションが大切であると思ひ、各地域での美化活動に積極的に参加することや事務所に来たい方たちの方たちと接し方については気配りしています。以前共済の魅力がわかりやすく表したチラシを作成し、配布したことも、増口につながったのだと思います。



玉井 松山組合は、共済加入者が少ないこと、特に交通共済が少ないので、素早い支払い

なっている実感しています。仲間内の共済だからこそ、廉価な掛金で恩恵にあずかっていると思う。

玉井 保険会社はほとんど親しくしていないと、早く審査してくれないが、たばこ共済はこちらから主導してアプローチできるので、こちらの対応次第で早く給付出来ます。ただ、課題として若い人が加入しないことの対応や家族ぐるみで共済を継続する手立てが欲しい。

高橋 盛岡組合の事務員がママ友のネットワークで交通共済を勧めてくれた。いい意味で男性より女性の情報発信力が高いのもいいかもしれませんね。

事務局 最後に、加入促進の決め台詞や組合のモットーについて一言お願いします。

村川 組合員には、自然災害と、間違いはないので、万が一に備えることが必要だと説明しています。たばこ共済の加入は、組合員さん自らの幸せとサービス提供に繋がっていると思っています。

高橋 どんな小さな仕事にも真面目に取り組み、常に明るく楽しんでいます。たいと常々考えています。

玉井 来年もこの席に来られるよう頑張りたい(笑)。

※「継続組合員制度」とは、一定条件のもと、廃業してもなお共済加入を継続することが出来る制度です。詳しくは所属する組合にお問い合わせください。

各地区で視察・研修会を実施 茨城県連合会茨城組合・鹿島組合

●茨城組合石岡支部

し、「たばこ」の流通の現状把握などを目的として、TSネットワーク株式会社水戸流通センターと茨城県庁などの視察・研修を実施した。

●茨城組合潮来支部

茨城組合潮来支部(谷田川正勝支部長)では3月26日、組合・女性部の代表など15名が参加し、交流・親睦を主目的として浅草寺、迎賓館、東京湾ランクルーズなどの見学・研修会を実施した。

●茨城組合下館支部

茨城組合下館支部(広瀬勲支部長)では5月18日、組合・女性部の代表など12名が参加し、交流・親睦を主目的として、全国唯一のウミウ捕獲場として有名な鶴の碑などの視察・研修を実施した。

●茨城組合土浦支部

茨城組合土浦支部(櫻井拓哉支部長)では5月18日、組合・女性部の代表など15名が参加し、行政などとの連携強化と組合員の交流・親睦などを目的とした茨城県庁、ひたち海浜公園の視察・研修会を実施した。

●茨城組合下妻支部

茨城組合下妻支部(諏訪善作支部長)では6月27～28日、組合・女性部の代表など7名が参加し、「たばこ」流通の現状把握などを目的として、TSネットワーク株式会社水戸流通センター、五浦美術館などの視察・研修会を実施した。

●鹿島組合

鹿島組合(岡見安定理事長)では6月27日～28日、組合・女性部の代表など22名が参加し、交流・親睦を主目的とした山形県米沢市の上杉神社、宮城県仙台市の青葉城址などの視察・研修会を実施した。

JT北関東工場を視察・研修

栃木県連合会・大田原組合

当日は、古内薫理事長はじめ組合員の代表と栃木県連合会の濱田孝事務局長ら22名が、日本最大級のたばこ工場であるJT北関東工場を訪問し、工場見学とともに、たばこの製造に関する解説や質疑応答などを行った。

参加者からは「日頃、販売している商品が、どのように作られているか実際に見るのができ、JT製品という層・愛着がまた、JT北関東工場の製造担当者との質疑応答では、初歩的な質問に對しても親切丁寧に対応していただき、全員が感謝していた。

江戸の世を彩る川柳評

谷匡輔

近年はマンション暮らしの人が増え、一軒家に暮らす人も以前と比べ、庭師や植木屋を呼んで庭の手入れをするという人は少なくなっているように思うのだが、いかがだろうか。

一服する(庭師・植木屋の場合)

明治維新(1868)前は、江戸は、大名や旗本など、のさまたげ屋敷や邸宅が江戸城を取り囲むように立ち並び、優れた造り人が、樹木の抜配を見たり、石の配置を変えたり、芝の状態を観察しながら、主たる旦那と相談して、施る様子や詠む。庭師も植木屋も仕事に取り掛かる前に、樹木の状態や石の配置を判断するところから仕事が始まる。

火で吸い付ける「結構な火で吸い付ける庭造り」

どの句は、いずれも作庭前に庭師が施すの意向を踏まえ、一服ならずチンソモーカのようにたばこを吸いながら沈黙考する様子を詠んだもの。「庭造り樹下石上で服し」というのが拾えるが、この句の「樹下石上」とは出家行脚する者の境遇を例える成句で、その文句取り。

植木屋については、「植木屋のたばこ旦那と入れ替わり」という川柳があるが、樹木の抜配を見たり、石の配置を変えたり、芝の状態を観察しながら、主たる旦那と相談して、施る様子や詠む。庭師も植木屋も仕事に取り掛かる前に、樹木の状態や石の配置を判断するところから仕事が始まる。

庭師も植木屋も仕事に取り掛かる前に、樹木の状態や石の配置を判断するところから仕事が始まる。

ライオンを北極に連れて行くとすぐに死んでしまいますが、人は北極での生活の仕方を学ばずには生きていくことができません。鯨の脂がヒレになったように、また外敵から身を守るために兎の耳が発達したように、人以外の生き物は置かれた環境に適合するように、一部の器官が発達しました。それに対して人は脳が発達し、肉体と環境の間に文化という中間領域を設け、どのような環境にも適応できるようにになりました。

生活の仕方である文化とは、人が自然に手を加えて作り上げた物心両面の成果です。人の精神の働きによってつくり出された文化は、肉体生活か

先人の言葉 18

「精神生活の仕方まで幅広い内容を含みます。人の生活を高めてゆくものから、物心両面でバランスよく取り入れることが有意義な生活に繋がっていきます。」

「それは常につきの信念をもたねばならず、また主義をもたなければならぬ」とと実業家に警鐘を鳴らしています。

「それに応えるように松下幸之助は、「人間生活は精神的安心と、物質の豊富さによってその幸福が維持される方向が続けられるのである。そのついでに、物質から精神的安定があつても、物質に

「物心一如の繁栄」

松下幸之助

乏しくは生命の維持すら困難である。物質が豊かでも精神的安心生命がなくて人間の価値もまた幸せもない。両者は車の両輪のとき存在である」と語っています。

「宗教道徳の精神的な安定と、物質の無尽蔵な供給とが相まって、はじめて人生の幸福が安定する

す。生産者の使命は、水道の水のように良い物をたくさん作り、このことよって貧しさをなくし、貧しさが生じる悩みをなくすことにある」という考え方で、その際、徹底した合理化によって廉価な優秀品を市場に送って社会に貢献し、その過程の中で正当な利潤を得、事業の基礎を

益々強固ならしめる経営が重要となることは言うまでもありません。

衣食住に従事する実業家の使命は、貧乏の克服にありませぬ。社会全体を貧乏より救って、豊かにすることにあります。この場合、物質世界に携わりながらも精神世界の向上に努めねばなりません。松下は、「目に見えない栄えの陰に目に見えない栄えが伴わねばならぬ。世の中の栄えも物質的のことだけを繁栄というのではない。これと同時に心も豊かになることが望ましい。(中略)物と心が別々でなく、お互いにつながりのある豊かさが繁栄の姿である」と語っています。物心一如の繁栄こそが実業家の使命であることを肝に銘じておきたいものです。

(飛鳥山 望)

頭の体操 おもしろクイズ

下の漢字を使って、「読み方」熟語を完成させてください。使う漢字は20で、10個の熟語が完成します。すべての熟語が出来上がったとき、2つの漢字が残ります。その2つの漢字でできる熟語を答えてください。

【読み方】	【熟語】
しにせ……	こうてつ…
そうさい…	でんわ……
きかい……	なりわい…
しゃない…	やたい……
じょうだん…	あっせん…

【使う漢字】

社	台	舗	話	相	殺	機	内
幹	元	更	電	談	械	老	生
屋	旋	送	健	業	康		

答= ○ ○ (残った漢字の熟語)

★正解者の方から抽選で10名様に3000円のクオカードをプレゼント!

【応募方法】ハガキに9月号と記入の上、答え、住所、氏名、年齢、電話、所属組合、今月号の「興味があった記事」と「興味のない記事」を明記してお送りください。締め切りは2023年10月5日(当日消印有効)。当選者と正解の発表は本紙2023年11月号です。

【クイズ・お便りコーナー応募先】〒105-0014 東京都港区芝1-6-10 芝SIAビル7階 全国たばこ新聞「クイズ」係 ☎03-3432-8346

- 7月号クイズの正解と当選者
- 正解 23
 - 当選者(敬称略)

竹内 よしえ(北海道)	佐々木 文助(岩手県)
深作 まり子(茨城県)	根本 てる子(千葉県)
山守 洋子(愛知県)	小谷 左知(滋賀県)
辻 清子(大阪府)	須山 和子(島根県)
中谷 千代子(高知県)	奥野 千代子(宮崎県)

 以上10名の方が当選いたしました。おめでとうございます。

募集締切 10/13(金) 組合員のみなさまに耳よりの情報です!

たばこ販売店総合保険のご案内

※ご加入できるのは、「全協」の傘下組合に所属する組合員(家族等含む)のみです。加入申込等の問い合わせは、所属組合へお願いします。

同居のご家族も入れます!

お店のリスクに備えたい!

売上金の盗難 自動販売機の破損

日常生活のリスクに備えたい!

日常生活のケガ 交通事故によるケガ 自転車による賠償事故

〈本件に関する問い合わせ先〉 ご所属の組合
株式会社 全日本たばこ販売センター

*この広告は保険の特徴を説明したものです。詳細はパンフレットをご覧ください。

組合員のみなさまへ

お店から訴える「喫煙マナー啓発」の標語募集

1面に掲載のとおり、今回、本紙では全協との共催で、「喫煙マナー啓発」のより一層の徹底を図るため、たばこ屋さんの店頭からも積極的・精力的に、「喫煙マナー」をアピールしていただくことを目的として、「お店からお客様等に訴える「喫煙マナー啓発」」の標語を募集します。

標語については、「吸い殻のポイ捨て防止」・「歩きタバコ防止」など、具体的な中身が分かるような作品を期待しております。募集要領等は次のとおりですので、みなさん、奮ってご応募ください。

【募集要領】

- ◆テーマ:たばこ屋さんの店頭から「喫煙マナーの啓発」を強くアピールする作品
- ◆応募対象:たばこ組合員・組合職員及びご家族:たばこ会社関係者
【応募にあたっては、住所、氏名、年齢、電話番号などを忘れず、明記してください。忘れずに、かつ、分かりやすい字でお願します】
- ◆募集期間:2023年9月より11月末日まで
- ◆応募方法:ハガキ、手紙、FAX(1人5点以内)
- ◆選考委員会:全協及びたばこ販売関係有識者
- ◆入賞作品選考:最優秀賞=1点(粗品1万円相当)、全協特別賞、佳作など数点(それぞれ相当する粗品を進呈)
- ◆入賞作品:全国たばこ新聞2024年2月号(1月25日発行)紙面に掲載予定
- 応募先:問い合わせ先
□住所:〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2 新橋第1ビル
(株)アーネスト 標語募集係
□電話:03(3432)8346 FAX:03(3432)8347

- 「法」順守 灰皿二つ 撤去せり (山口県 平田 勝子さん)
- マスクして 歩きたばこが 減った道 (大阪府 山本 珠貴さん)
- 喫煙70年 今更止めると 誰が聞く (富山県 神本 俊子さん)
- お客様 話し上手に 聞き上手 (東京都 石川 活叶さん)
- 愛煙家 毎日来店 嵐でも (茨城県 木戸 はる子さん)
- 今日もまた 友が待つてる 喫煙所 (千葉県 岩佐 正さん)

◆ 紹介作品 ◆

紙面の都合でしばらくお休みしました「たばこ屋さん目線」からの川柳。今月号は8月1日までに寄せられた63句の「川柳」の中から、次の6名の方の作品、6句を紹介いたします。

「たばこ屋さん目線」からの川柳



「POP講習会」に参加したみなさん



出来上がった作品

これは、全国たばこ新聞に掲載されている「手作りPOP講座」を自分たちで作製しようとして、「掲載作品を綺麗にコピーする」とや「拡大コピー」・「長持ちさせるためのバッチ」も、組合員ではできない「吸い殻のポイ捨て防止」・「歩きタバコ防止」などの声も寄せられたため、女性部が全組合員のために「手作りPOP講座」の作品の中から店頭POPの3点を絞った(いずれも写真参照)を目的としたもの。当日は、これまで掲載されている「手作りPOP講座」の作品を、仕事の合間に作製している組合事務局の加茂美保さんが講師になり、松井良子女性部長はじめ女性部役員12名が午後1時から3時までの2時間、挑戦した。

今回作製のPOPは、「比較的簡単に出来る」「揺れて目立つ」「1人が要領さえ覚えれば何枚も作れる」ということでも、①ダルムが主人公の20歳未満喫煙防止POP②売らない、買わせない、吸わせないPOP③

両面活用「年齢確認」と「20歳未満喫煙禁止」POPの3点を絞った(いずれも写真参照)をそれぞれ3種類のPOPを200枚作製、出来上がったPOPは、座談会などで組合員に配付する予定。なお、当日の参加者はハサミだけの教材などは組合事務局がそろえ、さらに、作製にあたっては各パーツを切つてからバッチし、POPが長持ちするようにした。

組合では、8月に予定されている静岡県女性部長会議でも、「POP講習会」を開催する予定(講師は浜松組合女性部代表)。

たばこ新聞掲載の「手作りPOP」を教材に

東海連合会・静岡県浜松組合

「POP講習会」を実施。作品は全組合員に配付へ
浜松組合(石原典理 合会議室において女性部「POP講習会」を実施。当日は、これまで掲載されている「手作りPOP講座」の作品を、仕事の合間に作製している組合事務局の加茂美保さんが講師になり、松井良子女性部長はじめ女性部役員12名が午後1時から3時までの2時間、挑戦した。

手作りPOP講座

店頭演出で集客アップ!!

手作りのPOPでお店を飾りましょう!

Design: イサ・デザイン

9月のP.O.Pの作り方

カラーコピーでPOPを作ってみましょう。

●カラーコピーを利用して簡単にPOPを作ってみましょう! この点線内を200% (A4サイズ)に拡大コピーをします。お近くのカラーコピーで拡大コピーをプリントして、A4厚紙に貼り、切り抜きます。(コピーでわからない点はお店で相談してみてください)

- 用意する道具** ハサミ、スティックのり(太めサイズ)またはスプレーのり、手芸用ボンド、定規、両面テープ、カッター、14センチカット、14センチ幅のダンボール(特厚口)A4サイズ1枚、ストロー3本(複製があれば)又は割り箸でもOK、ダンボール(4.5×13.5cm)1枚、
- 用意する材料**

